

あゆむ

平成30年度認知症の人とあゆむ会事業所見学会

9月13日(木)に認知症の人とあゆむ会事業所見学会を開催し、山田町の施設を見学してきました。

まず始めに、グループホーム「まぶる」を見学しました。まぶるとは山田町の方言で「守る」「見守る」という意味があるそうです。ひとたび施設の中に入るとその名の通り、あたたかく見守っているという雰囲気が伝わってきました。最初に感じたのが職員の数の多さです。ご利用者2人に対して職員が1人ついておりその介護の手厚さが見てとれました。まぶるでは、事業所理念として「自宅にいるような雰囲気」「なじみの関係」「その人らしい生き方」を掲げています。そのため、ご利用者様もみな一様に笑顔で過ごされており、各々の趣味に取り組みられていました。その人らしい行き方を支援していく大切さに改めて気づかされました。

その後、山田町まちなか交流センター「オール」の駐車場にバスを止めみなでお弁当を食べました。

その時見学会では初めて集合写真を撮りましたので、下に掲載します(笑)

その後、ふたつめの施設として小規模多機能型居宅介護事業所「眺望(ながめ)」を見学しました。山田湾を一望できる小高い丘の上に建っており、その眺めはまさに絶景でした。施設は、「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせ利用できる今までも何度か見学した小規模多機能型施設です。介護する上で一番大切にしていることが「常に笑顔で接すること」とのことでした。その言葉通り職員の方々はみな笑顔であり、そのためかご利用者様も本当に良い笑顔で過ごされている様子が伝わってきました。私たちが挨拶するより先にご利用者様が元気に挨拶してくれるため、本当に清々しい形で見学会を終えることができました。本当に勉強になった見学会でした。



ミニ講座

デイサービスの利用について

1. デイサービスの目的・効果

身体を動かしたり、社会交流をすることにより廃用症候群を予防し、機能低下を防ぐことができます。家族にとっては介護休養となり、在宅介護を継続させるために、デイサービスの利用は有効です。

①加齢により衰えた身体や脳の機能を回復するリハビリテーションの場②専門職員が体操やゲームなどで、身体、脳の機能回復に努め、日々の生活機能を高められる。③昼食や希望があれば入浴ができる、送り迎えもしてくれる。④認知症の進行を予防し、機能回復する為に必要な場となる。⑤利用している間に家族が、家の片付けや買い物ができる。

2. デイサービスの参加を促す

認知症の方が利用を嫌がる理由は、新しい環境が苦手なことや利用する理由が分からないことです。ほとんどの場合、デイサービスがどのような所で何をやるのかよく分かっていません。出来れば家族も事前に見学して確認し、その印象や目的を説明できるとよいでしょう。

3. デイサービスを拒否した時の対応

できれば最初は家族も一緒に行きましょう。利用していたのに、ある日突然拒否した場合は、利用中に何か嫌なことがあったということが考えられます。理由をケアマネや職員と相談して対策を考えましょう。それでも嫌がる時は一旦諦めデイについては触れないでみましょう。ある時突然利用できることがあります。



☆シリーズ☆ 認知症最新ニュース

【Run 伴いわて開催!】

～認知症を特別な事にしない活動～

今年8月末～9月中旬に県内の至る所で認知症の啓蒙活動が開催されました。RUN 伴(ランとも)は、認知症の人でもそうでない人も一緒にオレンジのTシャツを着て、一本のタスキをつなぎ、北海道から沖縄まで日本全国を走って縦断するイベントです。

認知症に対してまだ世間では負のイメージがある中で、認知症の人でも地域で伴に暮らす普通の隣人であることを実感したり、他人事ではなく自分事として“ひとつの目標に向かって、社会の一員として役割、喜びを感じる”機会が目的です。

今までは国道4号線を通るルートのみでしたが今年から沿岸地域も参加し、北三陸ルート(洋野町～普代村)南三陸ルート(大船渡～高田)も行なわれました。いつの日か国道45号線が一本のオレンジ色で染まる日が来るといいですね。

活 動 予 定

- ★ つどい定例会 (対象：正会員・一般介護者)
 - ・10月17日(水) 13:30～15:00
 - ※会場：小佐野コミュニティ3階
- ★ 認知症介護講演会 (対象：どなたでも)
 - ・11月 日(土) 13:00～14:40
 - ※会場：アミーガはまゆり1階
- ★ あゆむカフェ (対象：正会員)
 - ・12月中旬予定

